



2 学年学級通信 Vol. 19

10月21日（月）2 学年担任 木村和也・日浦晴美

🌸 「あいつの見え方」～あいつはおかしいと思った時～

今回は、日常生活で「あいつはおかしい。」「あいつが悪い。」と思った時にちょっと立ち止まって考えてみて欲しいことを書いてみました。

突然ですが、三ツ山問題って知っていますか。

下の図のように4～5歳の4人の子どもたちが、三つの山を見えています。Aの子どもはBもCもDも、この3つの山は同じように見えていると思っているようです。例えば、Aは手前に十字架がのっている山、真ん中に家がのっている山、奥に高い山が見えています。AはBからもCからもDからも同じように見えていると思ってしまうようです。これ、おかしいですね。Dからは、右に十字架の山があり、真ん中に家がのっている山、左に高い山があるように見えているはず。4～5歳はまだ脳が発達していないから、そう思うのだとか。

ここで、自分のことを振り返ってみてください。「自分からはこう見えるから、相手もこう見えているはず。」さらに「それなのに、〇〇しない（××する）のは、あいつがおかしい、あいつが悪い。」なんて考えたことはないですか。

みなさんが、この南高にたどり着いた理由や、過程は違います。また、影響を受けてきた家族や友達、出会ってきた人たちも違います。生きてきた環境も違います。

今の自分の位置からの見え方は、相手にも同じように見えていると思いませんか。そう見えた時に「あいつはおかしい！自分が絶対正しい！！」とも思いませんか。

そういう53歳の私も、相手の意見や考えを受け入れられない時があります。自分の考えが絶対に正しいと主張することも多いです。小学校から高校まで、特にトラブルもなく通い、大学にも行かせてもらえるような環境で育った私の、狭い視野での見え方、考え方によるものです。でも、「本当はどうなのかな？」「あの人はどうしてそう考えているのかな？」と疑問を持つことで、自分の間違いに気付いたり、自分の考えも広がったりします。

イラっとした時、あいつはおかしいと思った時、すぐに反応せず、ちょっと立ち止まって考えてみてください。その人がどう考えているのか、どうしてそんな振る舞いをするのかを考えてみてください。そうすることで、クラスの仲間との関係がもっと良くなり、みなさんももっと成長すると思います。

